

海軍大臣 齋藤 實 部長 敬 啓

軍機

自昭和十七年四月十日  
至昭和十七年四月三十日

一〇號九

十二月十五日 送付

第八根拠地隊司令部

第八根拠地隊戰時日誌

十六 四

所管所屬	聯合艦隊(第四艦隊)
役勢	第八根拠地隊司令部

2116

(目次)

- 一 経過
- 二 人員ノ現状
- 三 主要命令達報告等
- 四 参考
- 五 作戰経過概要

(目次終)

2117

自昭和十七年四月十日 第八根據地隊戰時日誌  
至昭和十七年四月三十日

一 経過

(一) 一般情勢

四月十日附ヲ以テ第八特別根據地隊ハ第八根據地隊ニ改編セラレ  
第八根據地隊司令官ハ引續キR方面防備部隊ノ指揮ヲ執ル  
四月十日現在ニ於テ當隊ハ「ニューアリティシ」「ニューアイルランド」「アドミ  
ラルティ」「ラエサラモア」方面及「ソロモン」北部ノ要地戡定ヲ豫定  
通完了南東方面第一線ノ戰略的要点ヲ確保シ「ラバウル」ヲ  
本據トシテ攻防共ニ備ヲ堅クシ敵ヲシテ乘ズルノ虚隙ナカラシムルト共  
ニ着々前進根據地施設ヲ整備シ麾下各隊ノ兵ヲ練リ民政諸機  
關ヲ充實シテ統治力ノ滲透ヲ圖ル等前進據点トシテノ機能發揮  
ニ遺憾ナキヲ期シツ、アリ

一方敵側ニアリテハ大規模ナル反攻作戰ニ出ツルノ氣力ナク僅ニ残  
存兵站基地「ポート・モレスビー」ニ據リテ航空機ニ依ル反撃手ヲ  
企圖セル以上ニ出テサルモ猶敵機動部隊及潜水艦ノ蠢動ト相俟ツ

2118

テ斯種「ゲリ」戰的反攻ハ時トシテ重大事態ヲ惹起スルノ虞ナキ  
ニシモ非ズ其ノ被害亦必ズシモ些少ナラザルヲ以テ進ミテ其ノ根源ヲ  
芟除スベク敵カ唯一ノ殘存軍事據点タル「ポート・モレスビー」攻  
略作戰ニ對スル諸準備ヲ進歩シ「ア」ニ處其ノ機運熟シ本月末MO  
作戰部隊ハ「バウル」ヲ出撃セリ

(二) 敵軍ノ情勢

既ニ敵陸上部隊ハ當隊警備區域ヨリ一掃セラレ僅ニ積極的戰  
鬪意識ヲ喪失セル若干ノ敗殘兵ノ潜伏スルモノアルモ殆ド問題ト  
スルニ足ラズ海上ヨリスル大反撃作戰ノ如キ積極的企圖ハ見ルト  
ヲ得ザリキ 然レドモ敵航空兵力ハ濠洲大陸ニ進出セル米國  
機ヲ中核トシ「モレスビー」ヲ中継基地トシテ殆ド連日「ラハウル」及「ラエ」  
「サラモア」方面ニ來襲シ其ノ攻撃振モ可成リ猛烈ニシテ又敵潜水  
艦ハ當方面水域ニ跳梁シ兵站線ノ攪乱ヲ試ミントスル等長期消  
耗戰ヲ目的トスル遊撃的攻撃ヲ漸ク繁ク必ズシモ事態ノ樂觀ヲ  
許サズ 敵機動部隊ノ來襲ニ對シテハ至嚴ナル警戒ヲ拂フヲ  
要スル情勢ニ在リ

(三) 任務、編成、配備

(イ) 四月十日附第八特別根據地隊ヲ第八根據地隊ニ改編セラレ「ラバウル」「スルミ」「カビエン」「アカ」「シヨートランド」及「ロレンガウ」方面所在舊第八特別根據地隊兵力ヲ以テ第八十一「警言備隊」ヲ「ラエ」「サラモア」方面所在舊第八特別根據地隊兵力ヲ以テ第八十二「警言備隊」ヲ編成、各警言備隊及守備隊ハ從來ノ任務續行ヲ令セラレ

(ロ) 機密R方面防備部隊命令作第七號及同一〇號ニ依リ令セラレタル兵力部署及軍隊區分左記ノ如シ

(ハ) 兵力部署

四月十二日附機密R方面防備部隊命令作第七號

88g 司令部	部 隊	指揮官	兵力			引警備隊 吳鎮三特陸 第八通信隊 第八潛基隊	全般作戰指揮 一 R R 方面防備並ニ殘敵掃蕩 二 R R 方面航空基地整備促進 三 R 方面通信中樞擔任
------------	--------	-----	----	--	--	---------------------------------	--

第一航空部隊	測量部隊	根拠地海上部隊	根拠地上部隊
--------	------	---------	--------

8B9  
司令官

聖川丸飛行隊長	宗谷特務艦長	14W9 司令
---------	--------	------------

聖川丸飛行機隊	宗谷 第四測量隊	掃二〇號 56dg (第三列丸) 56g (第五壽丸、第八玉丸) 14W9 (玉丸、羽衣丸、能代丸) 56g (日海丸、静海丸、京城丸)	四〇五 四空廠派遣員 四建派遣員	cm 8MAX2 3B9 cm 8MAX4 4B9 2117 13X6 3B9	56g 派遣高角砲隊(四門)	第七設營班 第十設營班
---------	-------------	--	------------------------	---	----------------	----------------

三、次期作戰準備	二、特令ニ依ル作戰 一、RRヲ中心トスル海上交通線保護	命令第二號ニ依ル海域急速測量	一、擔任海上交通線保護及防備 二、特令ニ依ル作戰 三、次期作戰準備	四、前進根拠地設營 五、次期作戰準備
----------	--------------------------------	----------------	---	-----------------------

2121

RXE守備隊	RXC守備隊	スルミ守備隊	RME守備隊	RO守備隊	第二航空部隊
--------	--------	--------	--------	-------	--------

469 指 揮 官 指 揮 官	81 警 備 隊 派 遣 隊 指 揮 官	81 警 備 隊 派 遣 隊 指 揮 官	81 警 備 隊 派 遣 隊 指 揮 官	589 派 遣 高 角 砲 隊 指 揮 官	鹿 島 飛 行 長
469 派 遣 隊 81 警 備 隊 派 遣 隊	81 警 備 隊 派 遣 隊 鳥 取 丸	469 派 遣 高 角 砲 隊 (二 門) 四 建 派 遣 員	81 警 備 隊 派 遣 隊 美 島 丸	589 派 遣 高 角 砲 隊 (二 門) 81 警 備 隊 派 遣 隊	鹿 島 及 469 聯 合 飛 行 機 隊
第 十 五 大 日 本 丸	一 RXC 方 面 防 備	一 スルミ 方 面 防 備 及 残 敵 掃 蕩 二 RW E 整 備	一 RME 方 面 防 備 及 残 敵 掃 蕩	RO 方 面 防 備 及 残 敵 掃 蕩	一 RO 中 心 ト スル 赤 道 以 南 海 上 交 通 線 保 護 二 特 令 ニ 依 ル 作 戦 三 次 期 作 戦 準 備

2122

直率部隊	部隊	附屬	RZL守備隊	RZM守備隊
8Bg 司令官	指揮官	直率	82警備隊派 遣隊指揮官	82警備隊司令
			四建派遣員	82警備隊派遣隊 四建派遣員
第十七設營班	第八設營班	吳鎮三特陸隊	第八潛基隊	第八通信隊
四月二十一日附機密R方面防備部隊命令作第一〇號		哨戒特務艇第一号同第一号第三号朝日丸 備讀丸第二南進丸 第十一号紀美丸 第五光進丸		
			一 RZL方面防備及殘敵掃蕩 二 RZL飛行場急速整備	一 RZM飛行場急速整備 二 RZM方面防備及殘敵掃蕩

2123

3



RXE 守備隊	RXC 守備隊	スルミ 守備隊	RME 守備隊	RO 守備隊	陸上防備部隊
------------	------------	------------	------------	-----------	--------

81Kg 司令								
4Bg 派遣隊指揮官	81Kg 派遣隊指揮官	81Kg 派遣隊指揮官	81Kg 派遣隊指揮官	81Kg 派遣隊指揮官	4Bg 派遣安藤隊指揮官	4Bg 派遣友常隊指揮官	3Bg 派遣三輪隊指揮官	5Bg 派遣佐々木隊指揮官
81Kg 4Bg 派遣隊	81Kg 第二南進丸隊	81Kg 派遣隊	81Kg 紀美丸隊	5kg 81Kg 派遣高角砲隊	com. 27AX2 4Bg (安藤隊)	com. 27AX2 4Bg (友常隊)	com. 27AX2 3Bg (三輪隊)	com. 27AX4 5Bg (佐々木隊)
							第八十一警備隊本隊	第四建派遣員 一〇四一〇五空廠派遣員

2124

第一航空部隊	測量部隊	海上部隊	R-L守備隊	R-M守備隊	
--------	------	------	--------	--------	--

聖川丸飛行長	宗谷特務艦長	14wg	82Kg	82Kg	
		司令	派遣隊指揮官	司令	
聖川丸飛行機隊 (三座水偵四、二座水偵六)	第四測量隊	56kg 56kg 14wg (第五壽丸、第八玉丸、第三利丸) (日海丸、静海丸、京城丸) (玉丸、羽衣丸、能代丸)	四 82kg 派遣隊員	第八十二警備隊本隊 3Bg 派遣高角砲隊 四 派遣隊員 美島丸、鳥取丸 オーストラリヤ丸 第五光進丸	大白丸 4

2125

部隊指揮官兵力主要任務

(ハ) MO 作戰ニ於テ當部隊兵力ノ大部ヲ之ニ參加セシムルト共ニ攻略部隊ノ出發準備作業ヲ全幅支援ス  
 兵力部署左ノ通  
 イ 號兵力部署 (MO 作戰終了迄) — 南洋部隊第六兵力部署ニ對應)

<p>附屬</p>	<p>第三航空部隊</p>
<p>RR 港務部長</p>	<p>鹿島飛行長</p>
<p>高千穂丸              備讚丸              第三號朝日丸</p>	<p>鹿島及489 聯合飛行機隊              (三座水偵三)              第二〇號掃海艇              第一號掃海特務艇              第二號掃海特務艇              吾妻山丸、五洋丸              長和丸、秋葉山丸、彰化丸</p>

RXE 守備隊	RXC 守備隊	スルミ 守備隊	RME 守備隊	RO 守備隊	陸上防備部隊	直率部隊
---------	---------	---------	---------	--------	--------	------

4Bg 派遣隊指揮官	81Kg 派遣隊指揮官	81Kg 派遣隊指揮官	81Kg 派遣隊指揮官	81Kg 派遣隊指揮官	4Bg 派遣砲隊指揮官	5Bg 派遣砲隊指揮官	81Kg 司令官	8Bg 司令官
81Kg 4Bg 派遣隊	81Kg 第二南進丸	81Kg 派遣隊	81Kg 紀美丸	81Kg 派遣隊 (舟山隊)	cm 2MAX2 4Bg (安藤隊)	cm 2MAX4 5Bg (佐々木隊)	81Kg 本隊	

一 MO 作戦協力  
 二 基地急速設営  
 三 RR 地域防備  
 四 陸軍警備地区継承  
 五 虜接収(別令)  
 六 特令任務

2127

RXB 守備隊	RZL 守備隊	RZM 守備隊
---------	---------	---------

3Bq 派遣隊指揮官	82Kg 派遣隊指揮官	82Kg 司令
------------	-------------	---------

第七設営班一部	兵三特一部	cm 8HAX2 8Bq (兵器)	cm 8HAX2 3Bq mm 13HqX6 3Bq (三輪隊)	四 82Kg 派遣隊員	第五光進丸	オーストラリヤ丸	美島丸、鳥取丸	四 建派遣員	cm 8X4 3Bq (重本隊)	82Kg 本部	大日本丸	第七設営班一部
---------	-------	-------------------	----------------------------------	-------------	-------	----------	---------	--------	------------------	---------	------	---------

南洋部隊第六兵力部署乙ノ發令ヨリRXB方面ノ防備ヲ担任ス

一各担任地域防備  
二特令任務

備考	海上部隊	測量部隊	第三航空部隊	附屬
	5Gg 司令	宗谷特務艦長	鹿島飛行長	RR 港務部長
備考	56chg (第五壽丸 第六丸 第三利丸)	宗谷 第四測量隊	鹿島及 4Bg 飛行機隊	第三號朝日丸 備讃丸 高千穂丸
	5Gg (日海丸 京城丸 欠)	RR 方面海上防備並ニ 海上交通線保護	一 既令ヨリ急速設營 二 コエキニ東端最馬 方面水路調査	一 担任海域哨戒 二 特令任務
備考	RR 方面對スル補給			

一 南洋部隊第六兵力部署乙トナセヨリ〇印ハ  
R 方面防備部隊ニ編入セラルル豫定  
二 R X B 攻略概成迄△印 (chx2 56chg) ハ特令ニヨリ R X B  
攻略部隊ニ編入セラルルコトアルベシ

(四) 作戰指導

(イ) 八待根當時ヨリノ繼續作戰ヲ續行スルノ外機密GF命令作第一二號GF機密第七三番電及機密南洋部隊命令作第一一號乃至第一三號ニ基キ機密R方面防備部隊命令作第七號ニ於テ作

戰方針ヲ

(1) 担任區域ノ防備竝ニ海上交通線保護態勢ノ強化

(2) 設營隊ノ主力ヲ以テスル飛行場整備及基地航空隊ノ協力

ニ依ル航空基地整備ノ促進

(3) 將來作戰對應ノ為ノ前進根據地設營ノ續行

ノ三点ニ定メ此ノ基本線ニ沿ヒ之ト竝行的ニ各附屬施設ノ建

設ヲモ促進セリ

(ロ) 本月初旬「アドミラルテイ」攻略ニ依リテ當隊第一期豫定攻略地

域ノ戡定ヲ終リタルヲ以テ前掲ノ如ク「アドミラルテイ」「エアイルランド

」「エアブリテン」「ソモモン北部」ヲ第八十一警備隊「ラエ」「サラモア」周辺

地域ヲ第八十二警備隊ヲ以テ夫々担当守備セシメ通信基地ヲ

設置シ且「ロレンガウ」ニ氣象觀測班ヲ派遣シ夫々警備討伐

連絡見張ニ任ゼシム 尚陸軍部隊轉進後「ラバウル」警備ニ関  
シ第八十一警備隊ヲシテ万全ノ對策ヲ講ゼシメタリ  
海上部隊ヲ以テ灣口日施哨戒ヲ行ハシムル外之ヲ機宜出動セシメ  
敵潛掃蕩ニ當ラシムル等担当海上交通線ノ保護ニ任ズルト  
共ニ基地航空部隊ヲシテ洋上日施哨戒ヲ實施セシム又「カビエン」  
「カビエン」「ロレンガウ」 「ラバウル」 「ラエ」 「サラモア」 及「ラバウル」  
「アカ」 「シポートランド」ノ三方面ニ定期的ニ交通線ヲ配備シ人  
員、患者、物資、輸送並ニ郵便業務ノ達成ニ當ラシム 一方  
第七設営班ヲ以テ「ウナカウ」飛行場ヲ第十設営班ヲ以テ「ラバウル」  
飛行場ヲ夫々担当セシメ炎暑下敵機ノ空襲及設営資材不足  
ノ惡條件下ニモ拘ラズ之ヲ整備ヲ完成シ且各飛行場ノ防空砲  
台ノ完備ヲ促進セリ

(ハ) 先月中旬一時敵機ノ活動稍消極的トナレル觀アリタル處今月  
ニ入ルヤ俄然活潑化シ「ラバウル」ニ於テハ殆ド連日「ラエ」「サラモア」  
ニ於テハ延日數二十一日間ニ亘リテ來襲シ爆撃及日施偵察ヲ  
行ヒ我防空砲火亦執拗ナル敵機ノ攻撃ヲ排シテ克ク其ノ十數



機ヲ擊墜セルモ B-125、B-126 等ハ快速力ヲ利用シテ屢々  
大胆ナル低空銃爆撃ヲ行ヒ其レニ依ル損害亦僅少ナラザルモノアリ  
四月十一日ニハ「ラエ」ニ於テ大順丸被爆沈没シ更ニ十六日ハ「エバル」  
港碇泊荷揚中ノ小牧丸ハ敵機ノ低空爆撃ニヨリ直撃手弾ニテ  
受ケ積載セル彈藥ニ引火船体ハ原形ヲ留メザル迄ニ破損セル  
カ如キ事件發生セリ

四月二十四日「サラモア」守備隊掃蕩進撃中同地南西十五料ニテ  
十二名ヨリ成ル下士哨ヨリ射撃ヲ受ケ交戦約二十分ニテ之ヲ潰走  
セシメタリ之ハ同方面攻略後初メテノ敵ノ抵抗ナリ

既ニ敵機ノ連日的強行偵察ヨリ推シテ敵側ニ於テ何等カノ企圖  
アルヲ豫想シ日施航空哨戒ヲ實施シ警戒ヲ嚴シクアリシモ本月  
中ハ敵機動部隊出現ヲ見ルニ到ラザリキ

### (五) 戦備及政策事項

前進根據地トシテノ任務遂行上當隊ニ於テハ特ニ民政ヲ重視シ之ヲ以  
テ作戰遂行ノ態様ナリトシハ特根成立ト共ニ直ニ第八特別根據地  
隊占領地行政實施要綱及同計畫ヲ制定シ軍政ノ即時的滲透

ヲ推進爾後内地各官廳ヨリ派遣ノ官吏モ到着シ三月十日ハ「三ノ  
ブリテン」民政部ノ開設ヲ見ル處ハ根ノ改編ト共ニ更ニ右要綱及  
計畫ヲ改訂發布セリ斯クテ當地原住民及在住華僑モ進ミテ當  
隊ノ各種軍役ニ服シ開發上ノ基礎的諸調査亦進捗シアリ  
内地人業者ニ就テハ敵襲未ダ繁キニ拘ラズ南洋貿易株式會社及  
南興水產株式會社ノ當地進出ヲ見 前者ハ内地ヨリ消費資材ノ到  
着迄應急的ニ華僑所有商品ヲ買收押收物資ト共ニ之ヲ販賣シ唯  
ノ物資交易機關トシテ軍票價值維持及其流通促進ニ寄與シ後  
者ハ當方面水域ニ漁船ヲ配置シ食糧自給態勢ノ一翼ヲ形成スベク  
準備中ナルヲ以テ之等ニ必要ナル利便ヲ供與スルト共ニ單ナル營利的  
打算的經營ニ墮ラサル如ク之ヲ監督指導シツアリ  
天長節ヲ期シテ從來八根司令部廳舎ニ仮寓シアリシ民政部ハ新  
廳舎ニ移轉セリ  
四月下旬「カビエン」ニ高等文官一名判任文官二名囑託一名ヲ派  
遣シ同方面ノ民政ヲ所掌セシム  
四月末ニ於ケル同部職員々數左ノ如シ

十七  
 参考  
 艦下艦船部隊行動

三〇	九	八	七	六	五	四	三	二	一	日
湾口										静海
シヨートランド	マツサワ	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	日海
作戦	スルミ作戦	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	哨	京城
湾口	哨									八玉
作戦	哨	哨	哨							三利
	哨	哨	哨							五寿
護衛	護衛	護衛任務								十一掃

(P44)